

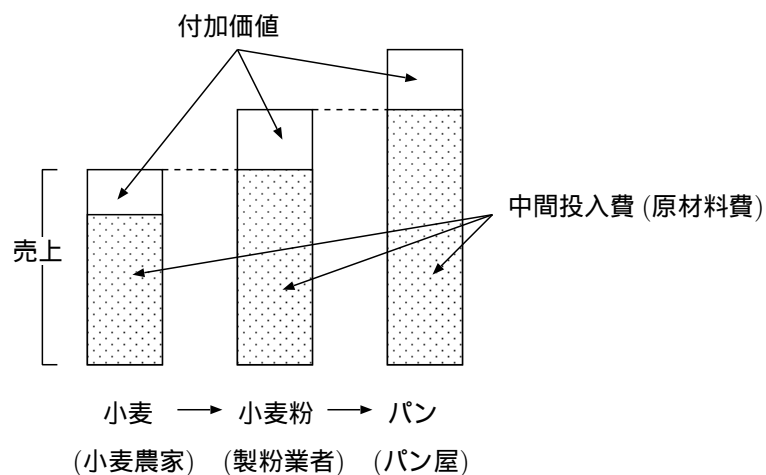
1 GDP – 一国全体の経済力と景気の状態を測る –

1.1 GDP (Gross Domestic Product, 国内総生産) とは

ある一定期間に (一年間あるいは四半期に)
その国で、新しく産み出された **付加価値** の総額

例) 2000年(2000年1月~12月)のアメリカの GDP
2000年第2四半期(2000年4月~6月)の日本の GDP

1.2 付加価値とは



- 中間財 :
- 最終財 :

1.3 GDP 水準: 一国経済全体の生産活動の規模

		1998	1999	2000
1	UNITED STATES	8,790,200	9,268,600	9,872,900
2	JAPAN	3,940,529	4,499,548	4,749,557
3	GERMANY	2,150,517	2,111,946	1,872,379
4	FRANCE	1,451,711	1,437,738	1,296,020
5	CHINA, P.R.: MAINLAND	964,533	991,200	1,079,948

単位 100 万ドル

(日本円では) 2000年の日本の GDP: 513 兆円

日本の GDP は、世界第二位・500兆円と覚えること

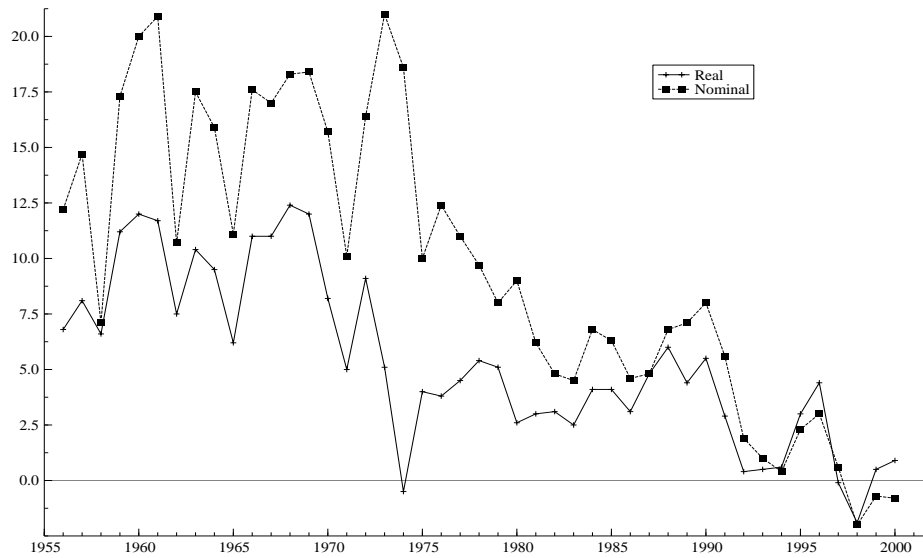
1.4 GDP 成長率 (経済成長率): 経済全体の生産活動の伸び

	2000	2001	2002	2003
United States	3.8	0.3	2.2	2.6
Japan	2.4	-0.3	-0.5	1.1
Germany	2.9	0.6	0.5	2.0
France	4.2	1.8	1.2	2.3
Italy	2.9	1.8	0.7	2.3
United Kingdom	3.1	1.9	1.7	2.4
Canada	4.5	1.5	3.4	3.4

2002,2003 は見通し

IMF World Economic Outlook

	GDP 成長率	生産	雇用	所得	物価	失業	倒産
好況	高い	↗	↗	↗	↗	↘	↘
不況	低い	↘	↘	↘	↘	↗	↗



戦後日本の経済成長率

- 名目 (nominal) :
- 実質 (real) :

1.5 練習問題

1. GDP の計算

図を板書 (付加価値総額 = 最終財の生産額 - 輸入 となることを確認)

2. 実質 GDP と名目 GDP

みかんとりんごとコメの 3 商品のみを生産している国を想定しよう (この国の輸入はゼロとする)。1985 年、2000 年の名目 GDP はいくらか。また、2000 年の実質 GDP(1985 年基準) はいくらか。

	1985 年		2000 年	
	生産量	価格	生産量	価格
みかん	10	7	12	10
りんご	25	10	20	12
コメ	30	20	40	22

3. 経済成長率

ある国の名目 GDP と実質 GDP がつぎのようであったとする。2000 年の名目経済成長率と実質経済成長率を計算してみよう。

1999 年		2000 年	
名目 GDP	実質 GDP	名目 GDP	実質 GDP
10	9	12	10

1.6 NDP, GNP, NNP, NI

- NDP(Net Domestic Product, 国内純生産)

GDP から固定資本減耗 (減価償却:生産のなかですり減った機械設備の補修費) を除いたもの。

$$NDP = GDP - \text{固定資本減耗}$$

- GNP(Gross National Product, 国民総生産)

以前は、GDP ではなく、GNP という指標が一般に用いられていた。GNP は、GDP とほぼ同じ概念だが、ほんの少しだけ違う。

— GDP : 一定期間内に 日本国内で新たに産み出された付加価値総額

– *GNP* : 一定期間内に 日本国民が新たに産み出した付加価値総額

たとえば

a : 在米 (アメリカにある) 日本企業が産み出した付加価値

b : 在日 (日本にある) アメリカ企業が産み出した付加価値

とすると …

	日本の <i>GDP</i> に	日本の <i>GNP</i> に	米の <i>GDP</i> に	米の <i>GNP</i> に
a	入らない	入る	入る	入らない
b	入る	入らない	入らない	入る

a を「海外からの所得受取り」、b を「海外への所得支払い」と呼ぶ。
だから …

$$GNP = GDP + \text{海外からの所得受取り} - \text{海外への所得支払い}$$

人・企業の海外進出が増えたので、日本国内の経済活動の成果をより正確に反映する *GDP* が用いられるようになったのです。

- *NNP*(Net National Product, 国民純生産)
GNP から固定資本減耗 (減価償却:生産のなかですり減った機械設備の補修費) を除いたもの。

$$NNP = GNP - \text{固定資本減耗}$$

- *NI*(National Income, 国民所得)
一定期間内に日本国民が稼いだ所得の総額。
付加価値 = 賃金 + 利潤 + (利子・配当・地代) + 固定資本減耗 + 間接税
となることに注意すると …

$$\begin{aligned} NI &= \text{雇用者所得 (賃金)} + \text{営業余剰 (利潤, 利子, 配当, 地代)} \\ &= GNP - \text{固定資本減耗} - \text{間接税} \\ &= NNP - \text{間接税} \end{aligned}$$

だから、おおざっぱには $GDP \equiv NI$ と考えてよい。つまり、*GDP* が増えるということは、*NI* が増えているということ。また、*GDP* を「日本国内で新しく稼ぎ出された所得総額」と言ってもよい。経済学を学んだことのない人に説明するときには、こちらの方がわかりやすいかもしれない(ただし、もちろん、公務員試験などを受験する人は、厳密に、上の *GDP, NDP, GNP, NNP, NI* の関係を把握しておかないとダメです)。